



平成29年6月29日

館山警察署長 高橋 信一 様

2020年東京オリンピック・パラリンピック館山市推進本部
本 部 長 田 村 悦 智 子



館 山 市 長 金 丸 謙 一



館山市議会議長 榎 本 祐 三



タンデム自転車公道走行の制限解除を求める要望書

館山市を含む安房地域は、首都圏からの時間距離やロケーションの良さ、信号機と交通量が少ない道路事情などから、自転車愛好家からトップ選手までの幅広い層の多くの方々が、トレーニングやツーリング目的で自転車に乗って訪れており、その数は年々増加の一途をたどっています。

また、平成27年6月に2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致に向けた、南房総自転車競技誘致分科会（構成団体：千葉県、館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）を設立しました。これは、オランダ国自転車チーム（ロードレース）の事前キャンプ誘致が目的で、今年の2月に、オランダ国からロードレースのコーチが館山市を含む安房地域を視察に訪れ、公道を実車走行し、高い評価をいただいております。

この時、コーチはパラサイクルコースとしても強い関心を持ち、タンデム自転車の公道走行について、柔軟な対応を強く求めています。

全国では16府県（平成29年4月1日現在）で、タンデム自転車の公道走行が解禁となっており、タンデム自転車の安全性について理解が進んでいます。

タンデム自転車の公道走行が可能となれば、事前キャンプ誘致に有利となるほか、2020年以降もサイクリストとの注目となり、一人で自転車に乗ることができない障害者（視覚障害）や足腰の弱い高齢者などが、幅広くサイクリングを楽しむことが出来ます。その結果、安房地域のスポーツ観光の推進に寄与するものと考えられます。

以上のことから、館山市を含む安房地域での公道走行を認めていただきたくここに要望いたします。